

# 2017年度 天文資料

平成29年度 第4号 (7月号)

平成29年 6月28日

発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館



## <7月7日は七夕>

7月7日は七夕です。天の川の両岸に別れ別れとなった、「おりひめ」と「ひこぼし」が1年に1度だけ会うことが許されるという七夕のお話はみなさんよくご存知のことと思います。この七夕の「おりひめ」と「ひこぼし」を、実際の空で見つけてみましょう。7月7日はまだ梅雨が明けていないことが多く、当日は雨または曇りかもしれませんが、その場合はその近くの日で、眺めてみましょう。

## <七夕の「おりひめ」、「ひこぼし」そして夏の夏の大三角を探そう！>

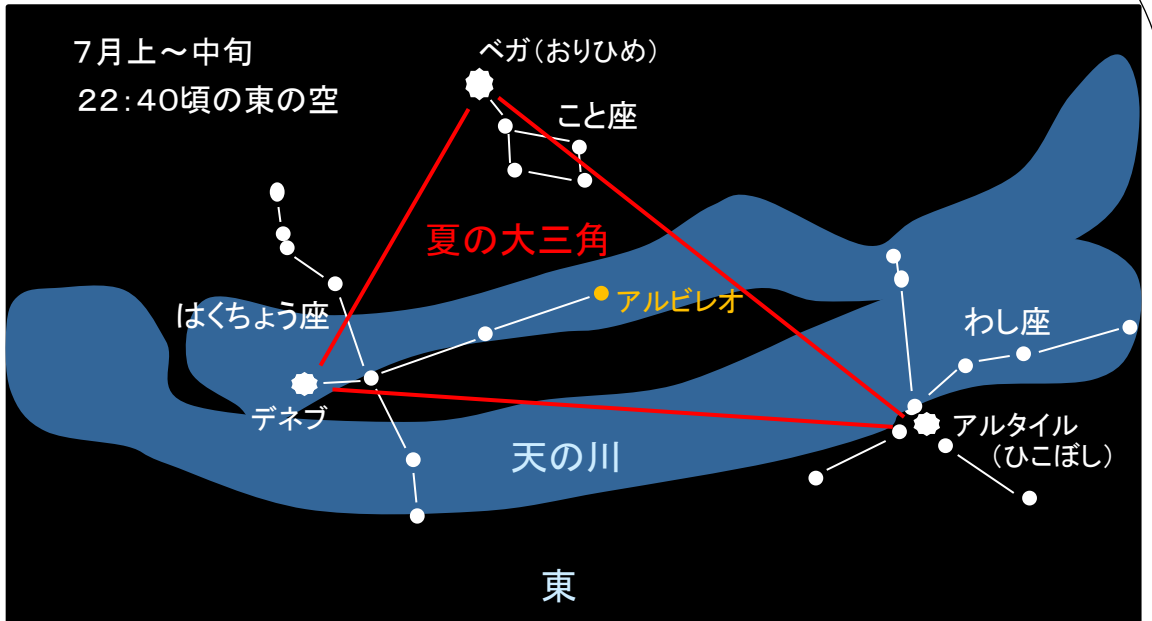
7月の月上旬は、まだ夏の星座が昇ってくるのは、夜遅くなってからです。22時くらいに東の空を眺めてみましょう。

東の空で、一番明るく輝いている星がベガ(おりひめ)です。ベガはこと座の1等星です。ベガから右下に進むとベガよりやや暗

い1等星があります。これが、アルタイル(ひこぼし)です。アルタイルはわし座の1等星です。ベガとアルタイルの間には天の川があります。この天の川は、空が澄んでいないと見えません。

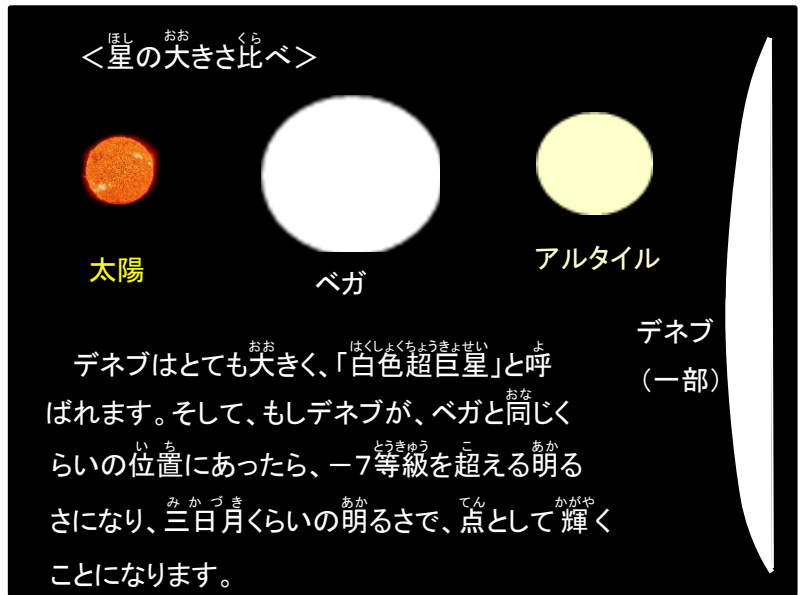
ベガのやや斜め左下に1等星があります。これがはくちょう座のデネブです。

ベガ、アルタイル、デネブを線で結ぶと三角形ができあがります。これが、「夏の夏の大三角」です。



## <夏の夏の大三角をつくる3つの星の比較>

項目	ベガ	アルタイル	デネブ
見かけの明るさ(等級)	-0.02 ~0.07※1	0.76	1.21 ~1.29※1
直径(太陽=1)	2.73	1.63 ~2.03※2	108
質量(太陽=1)	2.6	1.79	15~16
表面温度(°C)	約9000	6600 ~8200※3	約8200
地球からの距離(光年)	25	17	1400



※1:ベガとデネブは明るさがわずかに変わる変光星です。

※2:アルタイルは、8.9時間で1回転という高速で自転しているため、赤道が膨らんだ楕円形になっています。

※3:アルタイルの表面温度の推定には、少々幅があります。

## <7月7日の七夕は梅雨の末期>

7月7日は、梅雨の末期で雨や曇りのことが多く、星が見られないことが多いです。また、この時期は、宵の時間帯には「おりひめ」も「ひこぼし」もまだ東の空の低い位置にあります。もともと七夕は、旧暦の7月7日に行われたもので、今の暦では、8月上旬から下旬にあたります。この時期には、2つの星も宵の時間帯に高く昇り、天気も安定します。今年の旧暦の七夕は8月28日です。ひと月遅れの8月7日に七夕を行う地方もあります。佐世保でも、50年ほど前までは、8月7日に合わせて、多くの家庭で七夕飾りを作っていました。